

秋深き 隣は何を する人ぞ 【松尾 芭蕉 作】



静寂の中、冷たい外気に包まれて、ゆっくりと秋の夜が更けていく頃になって来ました。また、各地名勝のあちらこちらから、紅葉の便りが聞こえてくる季節にもなりました。そして思うに、コロナ再来の兆しに、気を緩められない日常ですが、今年1年を実りの年にするためには、児童も、大人も、これからが、ひと踏ん張りの時。・・・ そんなことを、秋風に吹かれながら、思っています。

・ 個人懇談会、及び作品展展示週間のお知らせ (よろしくお祈りします)

個人懇談会 11月28日(月)、29日(火)、12月1日(木)、5日(月)

※ 全学年、給食、及び清掃の後、13時30分頃、下校となります。

作品展展示週間 11月28日(月)～12月5日(月)

※ 保護者は、上記、個人懇談の日程日のみ鑑賞できます。13時30分～17:00まで
〔お願い〕 コロナウイルス感染防止の為、校舎内でのマスクの着用と手指消毒、並びに懇談以外での会話は、お控えください。また、懇談中は、室内の常時換気、及び担任と約2mの間隔を取らせて頂きます。加えて、当日に体調が優れないときは、遠慮なく日程変更についてご相談ください。



・ 友達について考える (今年度、後半の学校生活を充実させるために)

11月1日、火曜日の全校朝会で、児童達に、折り返し地点に入った後半の学校生活を今よりも増して、楽しく、且つ逞しく過ごしていくことを願い、「友達」についての話をしました。皆が気持ちよく生活するためには、お互いが見えない心を見て(見て)、して良いことと、悪いことの判断がつくように成長して欲しいと前置きの話をした後、「いじめ・暴力[ことば・文字・SNS]」は、絶対にいけないことだと発信しました。次に、理科[宇宙]の学習と題して本題に入りました。まず、太陽と地球を想起してもらい、天動説と地動説について、分かりやすく説明しました。昔の人は、地球を中心に、月や太陽、星たちが動いていると信じていたが、研究が進み、地球は、星と同じように太陽の周りを周っていることが証明されたこと。この事象を引用して、人の成長も同じで、乳幼児や、小学校の低学年の頃(例外あり)は、自分が中心という考え方で成長していくこと。自分さえ良ければ、自分の言うことを聞いて欲しい、自分の思い通りにしたいという思いが強いこと。しかし、成長していき、小学校の中・高学年から中学生・高校生…になると、皆と協力する事を学んだり、他者の気持ちを深く考える事ができたり、助け合ったりできるようになること・・・しかし・・・見て見ぬふりや流されることも



＝[同調圧力]は、哀しい事・・・このように、年齢・個人相応に好ましい人間関係について考える機会を設けました。児童達が、どれ程理解し具現できるか、今月以降も、見守っていきます。

・ 雑感：「本の持つ力」

～『読書の秋』に関する、新聞記事 より～

どんな本でもいいのです。本を開いてみれば、その瞬間、人生が変わるかもしれません。本にはそんな可能性を持った言葉が無数に散らばっています。でも読む人はあまりいません。読んだとしても、ほとんどの人は本に書かれている教えを真似しようとしません。一度、真似してみればいいのにと切実に思います。一つでもいいのです。実際、真似してみたら驚くことだらけです。そうしたら、こんなこともできるんじゃないかと、他にも試してみたいことがあふれてきて、そのうち、「これは一生かかってもやり切れないな」と気づくこととなります。もっと早くやればよかったと。ああ、とにかく、真似してみれば間違いありません・・・。また、こんな記事もありました。『小学校1年生時の「読書量」と中学校2年生時の「授業が楽しい」は、相関関係にある』との掲載記事。年齢の若い時に脳に刺激を与えることで脳の質も高まるようです。今、読書の秋の真っ只中です。

